

品川区立品川歴史館
リニューアル特別記念展

品川の 海と海苔

2025
令和7年

1月18日 土

3月23日 日

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日

毎週月曜日

月曜が祝日の場合は開館し、翌日の火曜日（2月25日）

観覧料

一般 100円 小・中学生 50円

※20名以上の団体は2割引

※70歳以上の方、障害のある方、区立学校・区内在住の小・中学生は無料



品川区立 品川歴史館
Shinagawa Historical Museum

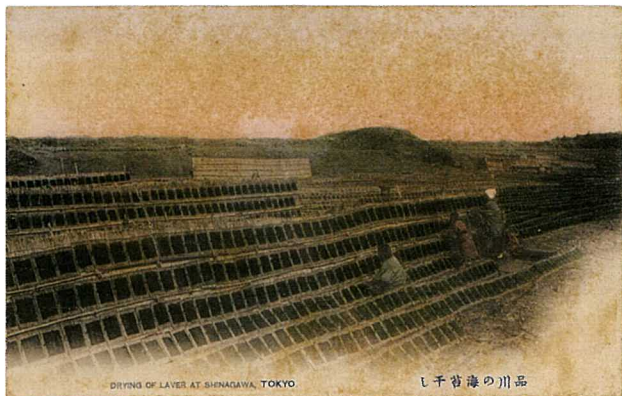
〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
電話：03-3777-4060 FAX：03-3778-2615



江戸時代から品川の海では、南品川^{りょうしまち}獺師町や大井御林獺師町などで漁業を営む人々により、養殖海苔の生産が行われ、江戸前の名物になっていました。明治時代からはさらに盛んになり、1963（昭和38）年まで続けられていました。本展では、今では見ることができない品川の海苔づくりの様子について、写真や古文書、生産道具を通じてその歴史を紹介します。



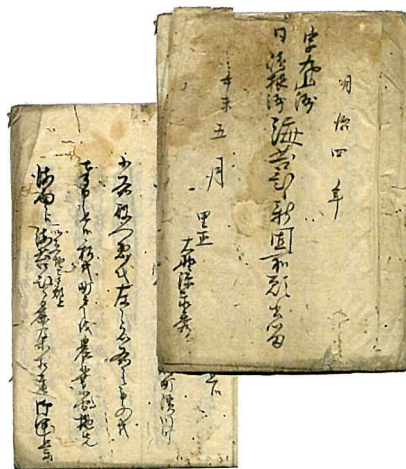
絵葉書「(東京名所) 品川」昭和時代(戦前)
坂本道夫氏収集資料(当館所蔵)



絵葉書「品川の海苔干し」昭和時代(戦前)
(当館所蔵)



竹内重雄「海苔業(二) 海苔漉き」1919(大正8)年
(当館所蔵)



「字丸山洲字島根洲海苔ひび新固所願書留」
1871(明治4)年5月
東京府荏原郡大井村関係文書(当館所蔵)

表面の画像
「大正期の品川沖海苔ひび位置推定図」
国土地理院所蔵空中写真(1975(昭和50)年)に、1918(大正7)年「日本東京海湾品川湾」を重ねて当館が作成



品川海苔生産道具
江戸時代~1962(昭和37)年
品川区指定文化財(当館所蔵)

リニューアル特別記念講演会

「海苔の歴史・生産・流通」

講師：乾 賢太郎氏(大田区立郷土博物館学芸員)
五十嵐麻子氏(大森 海苔のふるさと館職員)
中元幸二(当館学芸員)

日時：令和7年2月16日(日)午後1時30分~午後3時30分

会場/当館2階講堂

応募開始：令和7年1月11日(土)

- ・定員70名。事前申し込み制。応募が定員を超えた場合は抽選です。
- ・詳しい内容や申し込み方法は品川歴史館ホームページをご覧ください。

展示解説

「特別記念展『品川の手と海苔』の見どころ」

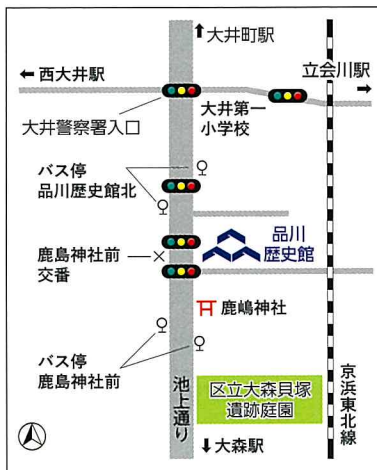
講師：中元幸二(当館学芸員)

日時：第1回 令和7年1月26日(日)午後2時~午後3時

第2回 令和7年3月22日(土)午後2時~午後3時

会場/当館2階講堂

- ・定員70名(先着順)
- ・事前申し込みはありません。当日直接会場へお越しください。
- ・各回同じ内容です。



◆大森駅(JR)

北口改札を出て、池上通りを大井町駅方面に徒歩10分

◆大井町駅(JR・東急など)

大森駅方面に徒歩15分
JR中央西口を出て東急バス

蒲田駅行または池上駅行で鹿島神社前下車、徒歩1分

◆西大井駅(JR)

しなバス大森駅北口行で品川歴史館北下車徒歩1分

◆立会川駅(京急)

徒歩13分



品川 品川歴史館
Shinagawa Historical Museum

〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
TEL:03-3777-4060 FAX:03-3778-2615

詳しくは
ホームページへ

